

園評価の結果について、以下の通り報告します。

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
<p>教育・保育内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナ5類移行に伴い、保護者や祖父母等の行事を行う回数が増えた。また、大きな行事等は人数制限なしで行った。それを踏まえ、感染症対策をしっかりと行うよう努めた。</li> <li>• 昨年同様、栄養士による食育指導を行い、子ども達と一緒に考えたりしながら、「食べること」「食」に関わることを楽しみながら伝えていくことができた。また、大切なことは、繰り返し伝えていく。</li> <li>• 0歳児の月齢に幅があり、一人ひとりの子どもの発達を踏まえ、無理なくその子どもの発達状況に合わせて援助した。危険のないように目を配り、信頼関係、スキンシップを大切にした。</li> <li>• 一人ひとりを大切にしたい明るく楽しく過ごせるように常に職員間での話し合いを設けた。</li> <li>• コロナ感染予防に努めながら、収穫した野菜などで、少しでも子ども達とクッキングを楽しむことができ良かった</li> <li>• 自分で考えて、自分で行動できるように環境を整えながら、遊びの場をひろげられるよう設定した。</li> <li>• 0歳児の月齢に幅があり、一人ひとりの子どもの発達を踏まえ、無理なくその子どもの発達状況に合わせて援助した。危険のないように目を配り、信頼関係、スキンシップを大切にした。</li> <li>• 気になる子の対応には、全職員で話し合いの場を設け、事例をあげながら、対応を確認していった。</li> <li>• 今年度後半から、降園時には園内に入ってもらってのお迎えに取り組んだ。</li> <li>• 元気で丈夫なからだ作りに園全体として取り組んだ。</li> <li>• 疑問に思ったことは、その都度話し合いを持ち、意見を出し合いながら解決していく。そして、保育・教育への共有・共感を職員全員が持つようにした。</li> </ul>

<p>教育・保育環境 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナ5類移行とはなったが、やはり感染予防対策として、大型バスの利用を中止して、親子遠足を開催した。 (現地集合・現地解散) また、曜日は人が込み合わないよう考慮して、平日を設けた。</li> <li>• おがーるシステムの導入を生かし、非常事態の時だけでなく園児全員への連絡等にしようした。</li> <li>• お迎え時に保護者が園内に入ることによって、保護者とのコミュニケーションをとりやすくなった。</li> <li>• 環境構成や遊び等、子どもの発達に応じて工夫していきたい。</li> <li>• コロナに限らず、感染症対策として遊具消毒・手洗い・うがいの徹底に全職員が取り組む。</li> </ul>
<p>教職員の専門性 に関する研修への 意欲について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナ5類移行に伴い、対面での研修会に参加できるようになった。保育の質を高めるために、積極的に参加し知識を増やしていきたい。</li> <li>• 以上児・未満児ともに、その都度、課題を見つけ、日常の保育へとつなげていく。</li> <li>• 個々に一年間の目標を持ち、先を見通した保育にするために努める。</li> </ul>
<p>地域・保護者との 連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昨年同様、災害時に備え訓練を行う。コロナが5類となったものの、地域の関係機関との連携をとるのは、難しかった。それでも職員間で連携・協力を得ながら行った。避難車での避難誘導も昨年度の反省を生かしスムーズな避難になるよう取り組んだ。</li> <li>• コロナ5類移行に伴い、地域のお祭りや作品展示・お遊戯発表など、参加することができた。年長児は、近隣の小学校に出向き、低学年の授業の様子や一緒に授業に参加するなどして就学にむけての意欲につなげた。</li> </ul>
<p>子育て支援の 充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一時預かりも休日保育も通常通り受け入れ可能になった。コロナ5類に伴い、他県や他園からも受け入れ、なるべく保護者のニーズに応えられるように努めた。</li> </ul>

## 2. 今後に向けて

<p>教育・保育の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ5類移行に伴い、異年齢児との関わりをもっと多く取り入れていく環境作りを設定する。</li> <li>・全職員が共通理解のもと、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育をめざし、思いやりある保育をめざす。</li> <li>・言葉遣いに気を付け、強い口調や制止や禁止の言葉を多く使いがちにならないように心掛ける。</li> <li>・中止していた行事を再開するにあたり、見直す所は改善し安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらよいかを考える。</li> <li>・施設の衛生、安全管理を徹底し安心して安全な環境作りに励む。</li> <li>・それぞれの発達に留意して、離乳完了と歩行や発語への意欲を育む。担任同士、共通理解をする。</li> <li>・連絡事項等伝えきれてない時もあったので、確実に伝える。</li> <li>・保護者アンケートを踏まえ、保護者の思いを受け止め、子ども達のために安心・安全に過ごすことができるよう、職員全員で取り組む。</li> <li>・特別な支援の必要子どもに対し、適切な指導や援助関わりが持てるようにする職員間で情報を共有し合う。</li> <li>・感染症予防対策のため、遊具消毒・園内清掃の徹底をしっかりと行う。</li> </ul>
<p>職員の専門性向上に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間のコミュニケーションをしっかりと、報告・連絡・相談を怠らないようにする。</li> <li>・職員全員が、保護者に対し真摯な対応・態度に努める。職員全員が共通理解をして、次につなげていけるようにする。</li> <li>・向上心を持ち続け、いろいろな行事が楽しんでできるように職員間での話し合いを十分に行っていく。</li> </ul>
<p>保護者・地域との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な対応を心掛け、正確な情報を伝える。</li> <li>・今後も保護者との連携を密にとり、共に子どもの育ちを支えていけるようにする。</li> <li>・おがスマメールの活用</li> <li>・緊急時の対応の理解、連絡の確認。</li> </ul>